

■ 「まちだ未来づくりプラン」 まちづくり基本目標の《主な取組内容》

基本目標：将来を担う人が育つまちをつくる

基本政策

2012～2016年の主な取組内容

2017年の主な取組内容

安心して、  
楽しく  
子育てが  
できる  
まちをつくる

市立保育園の  
定員増員



○市立保育園の建替や保育所の整備支援等で保育サービス定員を5,417人から7,788人へと増員。

地域子育て  
相談センター開設



イメージキャラクター みくちゃん

○就学前の子育て家庭を対象に、地域全体で子育てを支援する体制の充実のため、拠点となる「地域子育て相談センター」を5か所開設。

送迎保育  
ステーション開設



○10月に、町田市森野に送迎保育ステーション「つながり送迎保育園・もりの」を開所し、児童を5か所の保育園へ送迎。延べ利用者は1,833人。

子どもが  
生きる力を  
はぐくむ  
まちをつくる

学校支援  
ボランティア推進



○学校と地域が連携し多様な教育活動を行うため、ボランティアを活用した授業や学校行事を展開。活動者数は年19,296人。

教育センターの  
教育相談充実



○児童・生徒や保護者が学校で相談ができるようにするためスクールカウンセラーを全校へ配置、また家庭の課題解決のためにスクールソーシャルワーカーを活用、土曜日の相談を開始するなど教育相談体制を大幅に充実。

英語教育の充実



○「えいごのまちだ事業」を主要事業として位置づけ、児童の英語によるコミュニケーション能力を高めるため「放課後英語教室」を3校で実施(2020年度全小学校で実施予定)。

生涯に  
わたって  
学び、成長  
できる  
まちをつくる

常設型冒険遊び場の  
整備



○「常設型冒険遊び場」を2014年9月に芹ヶ谷公園、2016年3月に鶴川中央公園に整備。

子どもセンター  
の整備



○子どもセンター2014年1月に「ただON」、2016年4月に「まあち」を整備。

子どもクラブの整備



○木曽子どもクラブ「きそっち」を2018年1月にオープン。市内3か所目。

基本目標：安心して生活できるまちをつくる

基本政策

2012～2016年の主な取組内容

2017年の主な取組内容

健康に  
生活できる  
まちをつくる

ゲートキーパーの  
養成



○ゲートキーパー(自殺のサインに気づき見守って専門相談機関へつなぐ役割を担う)を3,699人養成。

食育の推進



○市民が自ら健全な食生活を実践できるようにするため、食育に関する調査を行い、食育推進計画を策定し食育を推進。

がん予防対策の  
推進



○町田市民の死因第1位であるがんの予防対策を推進。効果的、効率的ながん検診や普及啓発を実施。

みんなが  
支え合う  
まちをつくる

高齢者見守り支援  
ネットワークの拡大



○地域で高齢者が安心して暮らすことができるよう、町内会・自治会などの団体が主体となった高齢者見守り支援ネットワークが28地区に拡大。

特別養護老人  
ホームの定員増員



○介護施設の整備を行い、特別養護老人ホームの定員数を457人増やし、1,602人の定員を2,059人に拡大。

地区別懇談会の  
開催



○市と社会福祉協議会の協働で、住民が地域の福祉課題等について話し合う「地区別懇談会」を市内10地区で開催し、375人が参加。

地域で充実した  
生活を送れる  
まちをつくる

市民センターの  
建替え工実施



○忠生市民センター(2015年3月)と成瀬コミュニティセンター(2016年7月)の建替え工を実施しオープン。

地域活動の  
窓口設置



○地域活動、市民活動を行っている活動団体の連携促進、市民が新たに活動に参加するきっかけとするため、地域のさまざまな活動の情報発信、地域交流などを行う窓口を8か所設置。

地区協議会への  
支援



○市民活動に関するホームページを一新、地区協議会ごとの活動の状況や広報紙による情報提供を開始。地区協議会を支えるスタッフの数が1,003人となり、目標値の800人を大きく上回る。

安全に  
生活できる  
まちをつくる

官民協働  
パトロールの実施



○防犯意識向上と防犯活動のため、町内会・自治会や商店会、市や警察による官民協働パトロールを実施。町田市の刑法犯認知件数は2012年4,493件から2016年3,403件に減少。

自主防災リーダー  
の育成



○市民の防災意識向上を目的として、市民の自主的な活動の核となる自主防災リーダーを401人育成。

マンホールトイレ  
の設置



○地震対策として、災害時に備え、本町田・町田第六・高ヶ坂・七国山・函師・小山小学校の6施設にマンホールトイレを設置。マンホールトイレを設置した小中学校は合計22か所。

# ■「まちだ未来づくりプラン」まちづくり基本目標の《主な取組内容》

## 基本目標：賑わいのあるまちをつくる

### 基本政策

#### 2012～2016年の主な取組内容

#### 2017年の主な取組内容

経済活動が  
盛んな  
まちをつくる



町田新産業創造センター開所  
○起業を支援する施設として、2013年4月に「町田新産業創造センター」をオープン。センター入居者のうち数社が、年間売上高1億円超。



市民農園・体験農園の充実  
○市民が農への関心を深め、農にふれあう機会を持てるよう、市民農園・体験農園の充実や農産物販売所の設置を推進。市内における農園は15カ所、販売所は42カ所。



ちびヒロ×まちなかシネマの実施  
○子連れや買物客が中心市街地でゆっくり過ごせるよう、まちだターミナルプラザ市民広場を活用して、人工芝の遊び場「ちびヒロ」を実験的に設置するとともに、無料の映画上映会「まちなかシネマ」を開催。

文化芸術活動  
やスポーツが  
盛んな  
まちをつくる



陸上競技場・小野路球場の整備  
○陸上競技場では2012年度の観客席増設、2013年度のトラック内フィールドの改修等を実施。小野路球場では、2013年度の電光掲示板の整備を実施。



文化芸術作品の鑑賞機会の充実  
○国内外の優れた文化芸術作品を多くの人々が楽しめるよう、魅力的な展示活動や講習会を実施し、各文化芸術施設間で連携を強化。国際版画美術館観覧者は年93,006人、文学館は年30,469人。



パラバドミントン国際大会の国内初開催  
○2020年東京パラリンピック大会から正式競技に採用されたパラバドミントン国際大会を日本で初めて町田で開催。

魅力に  
あられ、  
何度でも  
訪れたくなる  
まちをつくる



小野路宿里山交流館の開館  
○2013年9月に小野路宿里山交流館2016年5月に来館者数10万人を達成。



市内イベントの振興  
○町田さくらまつりをはじめ、市内外への町田市のPRにつながる特色あるイベントの開催への支援。町田さくらまつりの来場者数は、2012年度～2016年度で延べ32万8千人。



町田薬師池公園四季彩の杜の整備  
○地域情報の案内所やカフェ・レストラン、地元農産物の直売所を備えた「ウェルカムゲート」の2020年4月開園に向け、実施設計を実施。

## 基本目標：暮らしやすいまちをつくる

### 基本政策

#### 2012～2016年の主な取組内容

#### 2017年の主な取組内容

誰もが  
移動しやすい  
まちをつくる



都内初、連節バスの運行開始  
○2012年5月に、都内初となる連節バスの運行を開始。



多摩都市モレール延伸の署名提出  
○多摩都市モレールの町田方面延伸の実現を目指し、2014年度に署名活動を実施。10万人を超える署名を国土交通大臣に提出。



相原駅、南町田駅駅前広場の整備  
○2015年度に相原駅西口、2016年度に南町田駅北口の駅前広場を整備。



鶴川駅周辺のまちづくりの推進  
○鶴川駅周辺のまちづくりの推進として、南北自由通路の概略設計、小田急線軌道内の現況測量、地質調査を実施。

良好な  
住環境の  
まちをつくる



「町田市団地再生基本方針」の策定  
○居住者や有識者、事業者を含めた懇談会を開催し、「町田市団地再生基本方針」を2013年3月に策定。団地だけでなく周辺のまちを含めた再生を推進。



文化芸術活動の促進・支援  
○町田市鶴川緑の交流館(和光大学ポプリホール鶴川)はホール、会議室等の貸出施設、図書館、行政窓口等の複合施設です。文化芸術の交流拠点等として市民活動を支援し、ホール・会議室等の利用者は年107,305人。



南町田駅周辺地区の拠点整備  
○2019年11月の「南町田グランベリーパーク」のまちびらきに向け、土地区画整理事業、南北自由通路、鶴間公園などの整備工事を実施。

みどり豊かな  
まちをつくる



街区公園の整備  
○地域住民の憩いの場、災害時の地域の防災空間を確保するため、街区公園を整備。

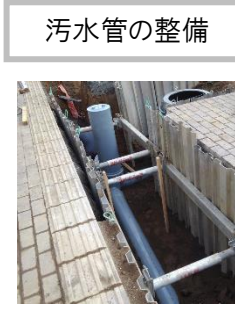


みどりの拠点整備  
○市内のみどりの拠点を充実させるため、薬師池公園周辺をはじめとする公園や緑地の整備を推進。



芹ヶ谷公園芸術の杜の整備  
○芸術の杜にふさわしい空間を演出し、中心市街地との回遊性を高め、新たな賑わいを創出する公園として再整備するため、第一期整備実施設計完了。

環境に  
配慮した  
まちをつくる



污水管の整備  
○相原町を中心に、污水管整備を実施。下水道人口普及率は5カ年で95.7%から98.6%へと上昇。



資源循環型施設の整備  
○リレーセンターみなみに容器包装プラスチック圧縮梱包施設を整備。JR横浜線以南地域容器包装プラスチックの資源化を2016年4月に開始。



資源循環型施設の整備  
○2021年度の熱回収施設の稼働開始に向け、町田リサイクル文化センターの旧管理棟解体工事の実施と造成工事着手。